第10講

社会科学系(3)
SDGsが持つ問題性

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

1　「歴史を通して繰り返しみられたように,まさに国家による森林保護こそが,地元住民を森林の敵にしてしまった」。これは,土壌,森林,水,気候などの自然環境を国家権力との関係で研究してきた環境史の大家,ヨアヒム・ラートカウの結論であった。

2　この主張には驚く人も多いだろう。というのも,気候変動に関する国際条約の批准にせよ,炭素税の導入や再生可能エネルギーへの補助金にせよ,環境保護に関心をもつ私たちの多くは,問題による関与の過剰ではなく,むしろ不足にあると思ってきたからだ。資源利用や環境保全に国がもっと関与し,人員と予算を割くべきだと考える人は多いと思う。だが少し立ち止まってラートカウの洞察を噛みしめると,私たちは,国家が自然環境に投げ込む政策が現地社会にどのような波紋を引き起こしてきたのかをしっかりと見届けてこなかったことに気づく。差し迫った環境問題への対処も大事だが,「問題」を特定の方向で生み出す社会のあり方,そして「解決」が促す人間社会の変化の方が深刻なのかもしれない。なぜなら,その人間社会こそがまさに「何を解決するべき問題か」を決めているのであり,解釈の結果を引き受けるのもまだ人間社会であるからだ。

3　自然環境を保全するために実施されたはずの政策が,その政策を仲介する地域の人々を翻弄し,その結果として地域の自然環境が持続性を失ってしまう現象を,ここでは「反転」と呼ぶことにする。そして,その反転の影響が当該国の人々に均等にふりかかるわけではない点は特に注意が必要だ。環境保護事業を引き受ける現場の地域住民,たとえば厳

格な保護対象になる森林のそばに暮らす人々，汚染への規制がかかる工場で働く人々，気候変動への適応策が実施される災害リスク地域に暮らす人々などは，反転に最も巻き込まれやすい人々である。そして，国家による環境政策が，自然環境の管理に先立って，そうとはわからないかたちで人間社会の管理に転化していく可能性がある。こうした転化は，格差や不平等を拡大し，地域の人々の環境保全意欲を低下させ，さらなる環境劣化の引き金になりうる。

4　「環境対人間」という対立構造は，気候変動や砂漠化などの文脈で，私たちになじみのある問題の立て方である。しかし，この問題設定に基づいて人間社会が環境に作用した結果が，その反作用として呼び込む新たな「人間対人間」の関係（＝意図せざる反転）について，私たちはあまりに無頓着ではなかったか。

（出典：佐藤仁『反転する環境国家』（名古屋大学出版会，2019年）の一部を改変した。）

（法政大学　人間環境学部　2021　一部の問いのみ抜粋）

生徒メモ欄

チャプター2

問題およびヒント

問題A　SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは何かという点を説明し、下線部の内容を踏まえた「SDGsが持つ問題性」について、できるだけ具体的な事例を用いて論述せよ。

問題B　下線部で記されているような「意図せざる反転」について、本文とは異なる事例を紹介した上で、自分の考えを述べなさい。

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

【問題A】

【問題B】

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

【問題A】

SDGsとは世界をより良くし、人々をより生きやすくするために設けられた17種類の世界的達成目標である。貧困、飢餓、差別をなくし平等や公正を求める人権に関わる分野と、海や陸の環境や二酸化炭素排出による温暖化対策など自然環境に関わる分野、そしてエネルギーや経済発展などの経済面に関わる分野の3分野に大別される。現在、二酸化炭素排出を防ぐために電気自動車や水素自動車の研究開発が続けられているが、膨大なガソリンスタンド施設の始末や従事者の生活などを考慮するとガソリン車からの移行を短期間で果たすことが困難であるように、その他の問題についてもこれまでの生活様式を大きく変える必要があるので、実現が困難である可能性がある。

(305字)

【問題B】

昨今問題になっているのが公共公園の使用方法である。元来は住民の安寧な生活を守り、高齢者も共有する空間での傍若無人なふるまいを抑制するために採択された「大声を出さない」「走り回らない」「花火をしない」「ボール遊びをしない」などの規制が、結果的に子どもたちの外遊びの場を奪っていることもまた「意図せざる反転」と解釈できるのではないだろうか。そのことだけが原因ではなく、学習塾などの習い事の影響もあるだろうが、子どもたちは外遊びの機会が減少し、発達したオンラインゲーム等のインドア活動が増えているようだ。外遊び減少に由来する子どもの体力低下には指摘がなされている。そのため、公共公園使用について本来の目的を尊重するならば、時間の自由の効く高齢者は午前中に、幼稚園や学校帰りの子どもは午後にというすみ分けを行うか、花火やボール遊びをできる時間指定を行う必要があるだろう。しかし、公共の場所は本来そのような自我を押し通す場ではなく、互いの希望を尊重する思いやりをも育む可能性がある場である。自分の価値観を押し通すのではなく、異なる立場の価値観をも尊重しながら共存していくことが公共の場であろうからこそ、公共公園の使用方法は万人が納得できるものであってほしいと考える。

(528字)

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

【問題A】

SDGsとは、誰一人取り残されることなくよりよい生活ができるように世界全体で協力し、解決に取り組む国際目標である。

その一つに、経済発展や技術開発により人間の生活が豊かになった弊害として多様な生態系や自然環境の破壊が進んでいる現状を危惧し、陸の豊かさを守ろうという目標がある。生態系の保護や森林の保全を掲げているが個人や小規模な団体の努力では取り組みに限界がある。例えば割りばしを使わない、環境を汚染するようなゴミ出しを避ける等意識を持つことは重要だが結果に結びつくことは少ない。SDGsという言葉は世間に浸透しているが成果が伴っているかというと疑問である。企業や国が主体となって具体策を明示することが必要である。

(306字)

【問題B】

東南アジアのマングローブ林が減少しているという現象は、自然破壊を象徴する話題としてたびたび取り上げられており、この話題を見聞きしたことがある人も多いと思う。減少した主な原因としては、エビの養殖場として開拓されたことや良質な木炭の原料としての伐採などが挙げられる。マングローブ林は多様な生物の生息地としてだけでなく、豊かな漁場や防波堤、防風林としての役目もあることからその減少を食い止めるため、天然林の伐採禁止や植林などの環境を守るための対策が取られている。一方で、ホームセンターでもよく見かけるが、日本など多くの先進国は木炭の多くを東南アジアからの輸入に頼っている。そのことは製炭業を生業とする現地民も多く存在することを意味し、その国の貴重な収入源となっていることは明白である。マングローブ林は彼らにとって別の意味で必要不可欠であるといえるだろう。マングローブを守る側とマングローブを使用する側は相反する立場でありながら、いずれも生活するためという共通の目的をもって存在する。これも「意図せざる反転」と呼べる事象の一つであると思う。

(466字)

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするための
おすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄